

令和5年1月30日開会

# 予算審査特別委員会会議録

鳥取県西部広域行政管理組合議会



# 予算審査特別委員会会議録

~~~~~

## 日 程

日 時 令和5年1月30日（月）  
組合議会臨時会休憩中  
場 所 米子市淀江支所議場

1 開 会

2 審査事項

議案第1号

専決処分について（令和4年度鳥取県西部広域行政管理組合一般会計補正予算（補正第4回））

議案第3号

令和4年度鳥取県西部広域行政管理組合一般会計補正予算（補正第5回）

3 閉 会

~~~~~

## 出席者（16名）

委員長	奥岩 浩基	副委員長	景山 浩
委員	土光 均	委員	今城 雅子
委員	中田 利幸	委員	戸田 隆次
委員	稲田 清	委員	渡辺 穰爾
委員	荒井 秀行	委員	森岡 俊夫
委員	山路 有	委員	米本 隆記
委員	勝部 俊徳	委員	山本 芳昭
委員	小谷 博徳	委員	三好 晋也

~~~~~

## 欠席者（0名）

~~~~~

### 説明のため出席した者

副管理者 米子市副市長	伊澤 勇人	事務局長	三上 洋
消防局長	赤川 紀夫	事務局総務課長	矢野 伴典
事務局ごみ処理施設整備課長	生田 公志	消防局総務課長	岩田 幸博
消防局警防課長兼警防課消防第二担当課長補佐	後藤 典明	消防局指令課長	生田 圭一郎
事務局施設管理課環境企画室長	吉持 貴文	事務局施設管理課施設長（米子浄化場）兼浄化場維持担当課長補佐	松並 豊
事務局施設管理課施設長（リサイクルプラザ）兼ごみ処理施設維持担当課長補佐	小林 祥弘	事務局ごみ処理施設整備課長補佐	加藤 公教
消防局予防課長補佐兼査察指導担当課長補佐	岡 浩輝	事務局総務課入札財政担当課長補佐	三原 剛
事務局施設管理課担当課長補佐	安田 憲	消防局総務課経理担当課長補佐	高田 一広
消防局総務課係長	足立 健		

~~~~~

### 議会担当職員

|     |      |    |       |
|-----|------|----|-------|
| 書記長 | 近藤 隆 | 書記 | 板井 寛典 |
|-----|------|----|-------|

~~~~~

### 1 開 会 (午後2時37分 開会)

○奥岩委員長 ただいまより、予算審査特別委員会を開会いたします。

~~~~~

### 2 審 査 事 項

○奥岩委員長 早速ではございますが、日程2、審査事項に入ります。先ほど、

本会議より付託されました議案2件について、審査いたします。

まず初めに、議案第1号、専決処分について（令和4年度鳥取県西部広域行政管理組合一般会計補正予算（補正第4回））を議題といたします。提案理由の説明を求めます。三上事務局長。

**○三上事務局長** そういたしますと、令和4年度一般会計補正予算（補正第4回）について御説明いたします。説明資料は、右肩に議案第1号補正予算概要と記したものを御用意ください。よろしいでしょうか。

そういたしますと、2の補正額でございます。歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,909万2,000円を追加いたしまして、補正後の予算額を50億5,501万2,000円にするものでございます。市町村負担金の補正額は、同額の1,909万2,000円でございます。この市町村負担金の増額によりまして収支の均衡を図っています。

3の専決処分年月日、それから4の専決処分の理由でございますけれども、令和4年12月21日付で、本組合が例といたします米子市一般職の職員の給与に関する条例が人事院勧告に準じて改正されましたことに伴いまして、人件費に係る予算について地方自治法第179条第1項の規定によりまして同日付で専決処分をさせていただいたものでございます。

その下の5の補正の内容でございます。（1）でございますけれども、勤勉手当の増額分といたしまして1,095万3,000円、（2）の給料、期末手当及び時間外勤務手当の増額分といたしまして725万7,000円、（3）でございますけれども、それらに伴います共済費の増額ということで88万2,000円の増額をしております。

おはぐりをいただきまして、2ページ、3ページ目には6、補正予算額といたしまして歳入歳出のそれぞれの明細書を記載させていただいております。歳出におきましては、太枠で囲ませていただいておりますけれども、それぞれ人件費を計上している科目につきまして補正を行っているところでございます。

最後に、3ページの下段でございます。こちらに、7といたしまして市町村別の市町村負担金の内訳を記載させていただいております。御確認をお願いいたします。説明は以上でございます。

**○奥岩委員長** 当局からの説明は終わりました。委員の皆様から質疑があればお願いいたします。別にないですかね。別にないものと認め、質疑を終わります。

続きまして、討論を行います。別にないものと認め、討論を終わります。

これより、本件について採決いたします。議案第1号、専決処分について（令和4年度鳥取県西部広域行政管理組合一般会計補正予算（補正第4回））について、原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

**○奥岩委員長** 御異議なしと認めます。よって本件は、全会一致で、原案のとおり

り承認すべきものと決しました。

次に、議案第3号、令和4年度鳥取県西部広域行政管理組合一般会計補正予算（補正第5回）を議題といたします。提案理由の説明を求めます。三上事務局長。

**○三上事務局長** そういたしますと、令和4年度一般会計補正予算（補正第5回）について御説明をいたします。説明資料は、同じく右肩に議案第3号補正予算概要というふうに記したものを御用意ください。

そういたしますと、1番の補正額でございます。第5回の補正につきましては、歳入歳出予算の総額からそれぞれ1,240万2,000円を減額いたしまして、補正後の予算額を50億4,261万円というふうにしております。市町村負担金の補正額は1億1,788万円の減額でございます。補正後の額は44億4,279万7,000円でございます。

2の補正理由でございますけれども、事業費の実績見込みなどによります増減のほかに、前年度決算に基づきます繰越金の財源充当などについて補正を行うものでございます。

3の主な補正内容でございますけれども、こちらは表にして書き抜いておりますが、500万円以上の増減がございました事業・項目について記載させていただいております。歳入が4項目、歳出が6項目ございました。それぞれの内容につきましては後ほどさせていただきたいというふうに思います。

その下の、4の市町村負担金でございます。こちら市町村別に記載させていただいております。ちょうど中ほどに太枠で囲っておりますが、こちらは第5回補正後のそれぞれの市町村の負担金の額ということになっております。その右側が現計予算、補正第4回との比較でございます。さらにその右側、一番右の欄にございますけれども、当初予算との比較ということで載せておりますけれども、こちらにつきましてはトータルでは395万1,000円の減額ということでございますけれども、個別に市町村を見ていただきますと、米子市と大山町以外は、多少幅がございますが増額という形になっております。その説明につきましてもまた後ほどさせていただきます。

おはぐりをいただきまして、2ページ、3ページでございます。こちらのほうには歳入について記載させていただいておりますが、3ページの歳入の主な内容につきましても御説明をさせていただきます。まず1款、分担金及び負担金の市町村負担金でございますけれども、こちらにつきましては先ほど御説明をさせていただきましたとおりでございます。その下の5款、繰入金でございます。退職積立基金繰入金を2,691万3,000円の増としております。これは退職手当支給対象者が5名から10名へ、当初から増となりましたことによります退職積立基金繰入金の増額によるものでございます。その下の6款、繰越金でございます。補正額が3,620万円の増ということでございます。こちら先ほど触れましたけれども、前年度の決算剰余金の確定に伴います繰越金の増額というもの

でございます。7款、諸収入の雑入でございます。こちらが1,900万円余りの増ということになっておりますけれども、主な要因といたしましては、一番上に書いております売却単価の上昇によります再生用有価物売払収入の増額によるものでございます。歳入の最後になります。8款の消防債でございます。2,000万円余りの増ということですが、こちらの主な要因といたしましては、古峠山の多重無線装置更新事業によります起債額が増となったものによるものでございます。

ページをおはぐりいただきまして、4ページ目以降には歳出について記載させていただいております。こちらの5ページ、6ページで主な内容につきまして説明させていただきます。まず、こちらの表には50万円以上の増額がありましたものを記載させていただいております。2款、総務費の一般管理費でございます。主な事業の3つ目になりますけれども、財政調整基金積立金を1,800万円余り増額としております。これは、令和3年度の決算額の確定によりまして、地方財政法に基づきまして令和3年度の決算剰余金の2分の1を下らない額の積立を行うものでございます。少し飛びまして、4款の衛生費でございます。すみません、こちらにつきましては、ちょっとページをおはぐりいただきまして、6ページの一番上でございます。不燃物処理費でございますけれども、こちらから3つ目の事業でございますが、不燃物処理施設維持・補修事業、こちらを1,600万円余り減額しております。これは契約実績によります工事請負費等の減額によるものでございます。2つ飛びまして、米子浄化場の処理費でございます。まず浄化場運転事業でございますけれども、こちらは760万円余りの増額ということにしてありますが、これは電気料金の高騰によります光熱水費の増額などによるものでございます。その下の、浄化場維持・補修事業でございます。こちらは減額でございますが、1,000万円余りの減額でございます。これは契約実績によります工事請負費の減額などによるものでございます。5款、消防費でございます。常備消防費でございますけれども、こちらの2つ目でございます。消防庁舎維持管理事業を750万円余り増額ということにしてありますが、こちらでも電気料金の高騰によります光熱水費の増額によるものでございます。最後でございます。一番下に記載をしております消防施設費の消防車両更新事業でございます。こちらの減額といたしまして530万円余りの減額でございますけれども、こちらでも契約実績によります車両購入費等の減によるものでございます。

7ページは、今御説明をいたしましたものの性質別でまとめたものを記載いたしておりますが、説明のほうは割愛させていただきます。

おはぐりいただきまして、今度はちょっと横に見ていただく形の表になっておりますけれども、8ページ、9ページに市町村別の市町村負担金の各費目別に金額を入れました比較を載せております。8ページが現計予算と第4回の補正と比較をしたものでございます。9ページのほうが当初予算と比較をしたものでござ

います。こちらのほうで若干説明をさせていただきたいと思っておりますけれども、1ページでお話をいたしました、合計欄、右側のところでございますけれども、米子市と大山町以外は減額になっておりますけれども、その他の市町村が増となりましたことにつきまして説明をさせていただきます。まず、右から5列目になりますけれども、最終処分費の列がございます。こちらが一番下、合計欄を見ていただきますと、3億4,000万円余りの増という形になっておりますが、これは今年度の補正の第1回で御説明をさせていただきまして、お認めをいただいておりますが、濃縮水の処理施設の建設費相当額を利子負担を軽減するための貸付金ということで新規計上させていただきまして、そのときの事業費が4億円余りというものでございました。こちらを計上した関係でですね、その後、事業費等の減がありましたけれども、3億4,000万円が最終的には増になるというものでございます。あと、ほかの費目におきましては合計欄を見ていただければ分かりますけれども、ほぼほぼ減額ということで、事業費も減額をさせていただきましたけれども、要はこの最終処分費で、第1回補正で計上いたしました部分が減額でちょっと米子市と大山町以外の市町村におきましては吸収ができなかったということで、最終的に増額となったというものでございます。説明につきましては以上でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

**○奥岩委員長** 当局からの説明は終わりました。委員の皆様からの質疑があればお願いいたします。戸田委員。

**○戸田委員** 退職積立金の基金繰入金のところなんですが、対象者の増は5名から10名ということで、退職者が5名増えているけど、これは消防吏員ですか。

**○奥岩委員長** 矢野事務局総務課長。

**○矢野事務局総務課長** 先ほどの御質問につきましては、事務局職員が1名と、それから消防局職員が4名ということで理解しております。

**○奥岩委員長** 戸田委員。

**○戸田委員** それで当初計画から消防吏員は4名増えたということなんですけれども、これで常備消防力の堅持ということは、そういうことには支障はないんですか。それともう1点、採用計画等の調整は図られておられるのか。この2点を伺っておきたいと思っております。

**○奥岩委員長** 赤川消防局長。

**○赤川消防局長** 本年度4名、既に早期退職の願いが出て受理しておりますが、消防力、年度内の退職がほとんどです。来年度からまた採用するわけでありまして、この消防学校期間だけ欠員になる状況がございますが、この間につきましては、結果的には有給休暇とかで左右する部分があるんですが、何とかシフトをやりくりして乗り切りたいと考えております。

それからもう1点、採用につきましては、今年度11月に合格発表をしておりますが、それに間に合うものについては追加採用しておりますので、実質的な減



員はこの4名よりは少なくなるのかなというふうに考えております。

○奥岩委員長 戸田委員。

○戸田委員 まあ、最後にしますけど。心配するのは、先ほど総務消防常任委員会の中でもやっぱりコロナ禍で救急体制を求められてくるということなんですけど、これだけ採用されて若い方がやっぱり辞められていくということになれば、それだけ消防力が下がってくるんだらうと私は予測するんです。それで消防学校に1年派遣をして、即戦力が、例えば10名派遣すれば10名定数から落ちてくるというような形になるんですから、なぜこういうふうな若い人が辞められていくのかなと、私、危惧感を生じておるんですけれども。その辺の背景といいますか、そういうふうなことは調査されておられますか。また、その対応策というのは何か持っておられますか。その辺のところをちょっと伺っておきたいと思いません。

○奥岩委員長 赤川消防局長。

○赤川消防局長 早期退職に対する御質問でございますが、早期退職する職員につきましては個々の聞き取り等は行っていますが、まあ個人情報、個人のことでありますので、この場でその理由を申し上げるのは差し控えたいと思います。しかしながら聞き取りの全般としましては、消防に対する思い云々ではなく、改めて自分の人生設計を考えたときに、どうしようかなと思って転職するパターンが多いようございまして、傾向としては、次の職を決められてから辞められる方が多いように考えております。

このマッチングに関しましては、現場ではなかなか採用後は対応することが難しいと思っていますので、採用時の事前説明とか、消防学校におけるオープンキャンパスとか、そういうものも活用して、ミスマッチングが起きないように今後とも取り組んでいきたいなというふうに考えています。

○奥岩委員長 戸田委員。

○戸田委員 圏域住民の方々はやはり身体、生命、財産を守っていただくんだと。私も先般救急事例が私の身内にあったものですから、本当に救急車に来ていただいて大変本当に安心感を持ったと。私達もそれだけの消防に対する、いわゆるどういふのかな、安心感、期待感、これを持っているわけですので、いつもそういう常備力は堅持していただきたいなというふうに思っているわけございまして。やはりそういうふうな傾向があるのであれば、それを阻止していくのも一つの考え方を持っていかなければならない。そういうふうなことも試行錯誤をしていただいて、対応策を検討していただければなというふうに思います。終わります。

○奥岩委員長 ほかにありませんか。今城委員。

○今城委員 1点だけ。浄化場運転事業、それから消防庁舎維持管理事業で、電気料金の単価高騰ということでありました。この単価高騰での増額というのは、

ある意味仕方がないと言うとあれですが、当然まあそうなるだろうな、時代の趨勢ですと思っています。なので、増額に関してどうってことは思っていないんですけれども、これを考えていくと、例えば斎場のほうはどうなのかなとか、今、現在予測をすると多分増額にするとまでいかないから、ここの補正に挙がってきていないんだらうとは思いますが。様々なところでこの単価の高騰ということってというのが非常に大きくなるかなっていうふうにも今後思っていますし、一般家庭では補助というのもこの2月請求分から来るんですけれども、事業としてやっている公共施設も含めてのところには該当しないと思ったりしますので、こういう辺りの対策みたいな感じ、できないことなんですけれども実際問題は、今後のことも、来年度等も考えると、何かこう、もう一つその対策みたいな感じのことってというのは今後お考えなのかどうなのか、対策を取れない状態なのかということ、ちょっとだけ伺っておきたいと思うんですが。

**○奥岩委員長** 三上事務局長。

**○三上事務局長** 御質問の中にありました浄化場の部分だけ、まず最初に説明させていただきます。私の説明のほうはちょっと割愛させていただきましたけれども、5ページの下のところ、火葬場費ということで記載しております。火葬場運営事業といたしましては、やはり390万円余り、400万円弱の増ということになっています。火葬場につきましてはですね、電気というより、どちらかといいますと火葬に伴いますLPガス、こちらのほうが使用量が多いということで、電気代に比べまして単価の高騰率が低かったものですから、この程度で収められたというところがございます。

それから、その後に御質問いただきました、要は来年度以降の経費の節約といえますか、そういった工夫は検討されているかというようなお尋ねかなというふうに思いますけれども。ちょっと具体的にはですね、今やはりどうしても必要になってくるものがございますから、要はそれぞれの、火葬ならやっぱり火葬によりかかるもの、それから、それぞれの施設についてはやっぱり施設を動かす上で必要になってくるものということで。節約のほうも職員に努めるようには働きかけはしておきたいと思っておりますけれども、どうしてもその実使用の部分でですね、ここだけはやっぱり節約では対応できない部分があるのかなというふうに思っております。まあ、今日いただきました御視点で、もうちょっと細かいところをですね、担当課でも工夫ができるところがあるのかなのか、その辺りはちょっと話をしてみたいというふうに考えています。以上でございます。

**○奥岩委員長** 今城委員。

**○今城委員** おっしゃったとおりで、できる状態のところと、できないことってというのは絶対あるので、そこを無理してどうにかしようなんていうことは考えることはないと思っています。ですので、何か他市とか他行政体とかのいい事例などがあれば、多少ね、検討いただければと思いますので。これは要望として、

よろしく申し上げます。以上です。

○奥岩委員長 ほか、よろしいでしょうか。勝部委員。

○勝部委員 補正予算に関する説明書の一番最後のページは19となっておりますけれど、その前のページを18ページと読ませていただければいいんじゃないかと思えますけれども。資料のほうですけれども、一般職の給与費明細、それから共済費明細。このところを質問したいんですけれども、大丈夫でしょうか。18ページということによろしいですか。これね、下の19ページの場合、いわゆる給与費明細は給料と職員手当の増減は、これは普通のルールで出したっていいんですけれども、ただ、前の上のページの18ページで読むと、共済費がありますよね。共済費はプラスの177万2,000円の増なんですよね。いわゆる、多分人事異動と中途採用、いろいろあると思うんですけれども、内容は。ただ、給料、給与じゃなくて給料が1,594万円減額になっていて、共済費は短期・長期を含めて逆に177万2,000円アップするっていうのは、この理由はどういうところにあるんですかね。一般的には連動するような頭が私は個人的にはあるんですけれども。

○奥岩委員長 矢野課長。

○矢野事務局総務課長 先ほどの御質問の件なんですが、御指摘のとおり共済費は給与等に連動していくところなんですけれども、結論から言いますと、消防関係の費目については共済費にも計上させていただいておりますが、そのほかのものにつきましては、現計予算内で対応可能だということで計上しておりませんので、その辺りの差が出たのかなと認識しております。以上です。

○奥岩委員長 勝部委員。

○勝部委員 要するに、計上方法の考え方が私の認識と違いがあるということですかね。それともちょっと違うんですかね。

○奥岩委員長 矢野課長。

○矢野事務局総務課長 すみません。ちょっと説明が不適切でしたが、消防費だけ補正をさせていただいたと、この共済費に関しましては、ということになります。職員数が多いというところもありまして、ほかの費目については現計予算内で対応可能なんですけれども、消防費だけは補正を計上しないと、ちょっと運営が難しかったというところで計上させていただいております。

○奥岩委員長 勝部委員。

○勝部委員 以上で終わります。

○奥岩委員長 ほか、よろしいでしょうか。別にないものと認め、質疑を終わります。

続いて、討論を行います。

〔「なし」と声あり〕

○奥岩委員長 別にないものと認め、討論を終わります。

これより、本件について採決いたします。議案第3号、令和4年度鳥取県西部広域行政管理組合一般会計補正予算（補正第5回）について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

○奥岩委員長 御異議なしと認めます。よって本件は、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、当委員会に付託されました議案の審査は全て議了いたしました。

~~~~~

3 閉 会

○奥岩委員長 これをもちまして、予算審査特別委員会を閉会いたします。

（午後3時05分 閉会）

鳥取県西部広域行政管理組合議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

予算審査特別委員長

奥 岩 浩 基